

証券コード：9082

# 第114期 事業報告書

2020年4月1日～2021年3月31日



**大和自動車交通株式会社**

## 株主のみなさまへ

第114期の事業報告を申しあげるにあたり、日頃ご理解とご支援をいただいております株主のみなさまに、ご挨拶申し上げます。

### ●連結会計年度の事業の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により停滞していた社会経済活動が再開しつつありましたが、再び新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、緊急事態宣言の発出やG o T oトラベルの中止等、回復に向けた動きを停滞させる状況となり、旅客運輸業においては大幅な減少からの回復について、依然として先行き不透明となっております。

当連結会計年度の連結業績は、主要事業である旅客運送において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛やテレワークの浸透等で利用客が大幅に減少したことにより、売上高は11,533百万円（前期比28.0%減）、営業損失は3,544百万円（前期は営業利益63百万円）、経常損失は2,088百万円（前期は経常利益87百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,721百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益635百万円）となりました。

なお、当連結会計年度において、雇用調整助成金1,485百万円を営業外収益に、賃貸ビル（テラス銀座）の売却等による固定資産売却益524百万円を特別利益に、それぞれ計上いたしました。また、株式会社丸井自動車の全株式を取得し、第1四半期連結累計期間より連結子会社といたしました。

更に、子会社の大和物産株式会社が、ゴルフ場、ホテル等、全国約130物件の総合メンテナンス業を主に東京、大阪、福岡で展開する株式会社トータルメンテナンスジャパン（以下「TMJ」という）の全株式を取得し、第3四半期連結累計期間より連結子会社といたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①旅客自動車運送部門

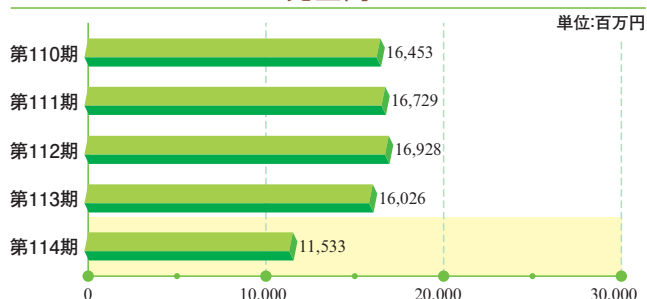
タクシー部門では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用客の大幅な減少や、2020年4月16日よりタクシー部門で実施している計画供給調整（稼働タクシー車両台数の減少）の影響により、全タクシー子会社7社の売上高は5,111百万円（前年同期比44.6%減）となりました。当連結会計年度におきましても、当グループの課題である乗務員不足解消の

施策として、積極的な採用活動を展開し、接客やマナーの教育・訓練を十分に施すことで適性のある良い人材を増やしております。また、事前確定運賃サービスや需要予測サービスなど、お客様の利便性向上を図る配車アプリ「S.RIDE」のサービスにも引き続き注力しており、そのサービス提供の地域を多摩地区にまで拡大させました。前期に導入しました後部座席タブレット端末やIPタブレット端末による電子決済サービスに加え、今期はQRコードによる決済サービスも導入いたしました。新たな事業展開といたしましては、規制緩和を受けて有償運送（フードデリバリー）許可申請を行い、フードデリバリーサービスを開始いたしました。このサービスに関しましては、お客様の行動自粛等により、少しずつではありますが受注が伸びております。また、新型コロナウイルス禍における行動自粛からくるお客様のストレス軽減と旅行ニーズへの施策として、株式会社共立メンテナンスと提携し、同社のリゾートホテル事業「共立リゾート」とタイアップしたタクシー往復送迎付き宿泊プラン「自宅からリゾート直幸往復便」を2020年6月より開始いたしました。このプランは、自宅玄関前から宿泊施設までをDoor to Doorで結ぶことで、他者との接触を最小限に抑え、安全・安心かつ癒し・安らぎを届けるプレミアムな旅をリーズナブルな価格でお客様に提供しており、発売開始以降、一事業として堅調に推移しております。また、観光・旅行需要のお客様獲得に向け、2020年9月にG o T oトラベル地域共通クーポン取扱事業者申請を行いました。そして引き続き、外国人のお客様対応を目的とした多言語音声翻訳システム実証実験、交通事業者としてモビリティのサービス化（MaaS）や自動運転分野の実証実験、需要予測や相乗りタクシーの実証検証へ積極的に参画し、異業種や大学等の学術機関との連携を深めることで、新たな移動サービスの提供の実現に努めております。特に自動運転分野に関しましては、株式会社日本総合研究所が高齢化社会に向け交通弱者でも地域内外の移動をスムーズにし、地域内外の商店・企業等と地域をつなげ、住民同士の関わり合いの機会を作ることを目指している「まちなか自動車サービス事業構想コンソーシアム」に当社も参画し、各種サービスの開発に取り組んでおります。輸送の安全確保面では、前期に引き続き先進安全機能が搭載されたトヨタJPN-TAXI車両の導入を推進し、追突、接触及び乗降時のドア開閉における事故等の有責事故件数の減少に寄りました。

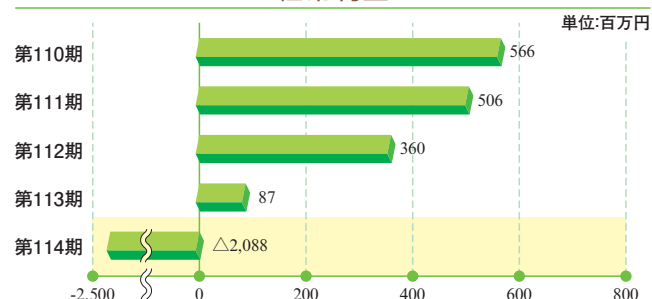
ハイヤー部門では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、お客様におけるテレワークの浸透で需要が低下し、売上高は2,347百万円（前期比13.4%減）となりました。経費面では、新規入社乗務員募集費や採用

## 財務ハイライト

### 売上高



### 経常利益



乗務員研修費等が前期に続き増加いたしました。駐車場や事務所賃料の値下げ交渉を行い、経費支出の圧縮により、利益率の改善・向上に努めてまいりました。営業面では、お客様の新型コロナウイルス感染症防止対策として通勤時のハイヤー利用を積極的にセールスした結果、新規顧客を獲得することができました。福祉輸送部門においては、新型コロナウイルス感染症予防対策として福祉車両に換気のためのサイドバイザー（車の窓ガラス上部を覆う樹脂製カバー）装着や飛沫防止カーテンの設置等の実施に加え、新型コロナウイルス禍における安全な移動手段として通学時の福祉車両利用を積極的にセールスし、売り上げ増を図りました。また、乗務員不足の課題解決のため、「doda」「イーキャリア」などの求人媒体に乗務員インタビューを掲載する等の採用募集を積極的に行うとともに、新人乗務員指導係を増員し、乗務員未経験者に対する教育体制も更に充実させました。加えてシルバー人材センターへの乗務員求人登録や運転者職場環境良好度認証（動きやすい職場認証制度）の審査申請も完了しております。

以上の結果、タクシー部門とハイヤー部門等の旅客自動車運送事業売上高は7,458百万円（前期比37.6%減）、営業損失は3,061百万円（前期は営業損失81百万円）となりました。旅客自動車運送部門の最重要課題である乗務員確保、高齢化社会の到来に伴い多様化する生活サポート・福祉関連ニーズの高まりに応えるため、大和グループの総力を挙げ、「安心・安全、おもてなし」の更なる向上に努めてまいります。

#### ②不動産部門

不動産事業では、引き続きテナントの要望に沿った施設の改善に努めるとともに、大手仲介不動産会社や各物件所在地の地元不動産会社と継続して積極的な情報交換を実施し、事業収益の増強に取り組んでおります。当連結会計年度におきましては、賃貸ビル（テラス銀座）の売却に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、商業店舗等からの一時的賃貸料の減額等に応じたこともあり、賃貸収入売上が減少いたしました。また、オフィスビルやマンションのリフォームにも積極的に取り組んだことで費用が発生したため、利益が減少いたしました。一方で、TMJを子会社化したことに伴い、TMJの第4四半期連結会計期間業績が連結対象となりましたので、売上高は増加しております。

以上の結果、不動産事業の売上高は1,432百万円（前期比53.8%増）、営業利益は296百万円（前期比48.8%減）となりました。

#### ③販売部門

自動車燃料販売部門では、売上高の減少を最小限に抑えるため、既存ス

タンドにおいて新型コロナウイルス感染症対策用品配布等の販売促進キャンペーンを実施するとともに、より一層のきめ細かいサービスの提供を推進する等、顧客営業を強化しております。しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛要請等による自動車燃料の需要が減少していることや、既存スタンドにおいて時短営業を余儀なくされていること等、厳しい状況が続いておりますが、小売価格の見直し等を行うことで営業利益の確保に努めてまいりました。

金属製品製造販売部門では、安定的な収益基盤を確立するため、高利益率の見込める特注品等の受注生産を積極的に展開しております。共同出資企業のベトナム工場の生産高は堅調に推移しておりますが、前期より続く住宅の建設面積の縮小傾向は止まらず、主力商品である標準階段の生産高が減少しました。

以上の結果、販売事業売上高は2,642百万円（前期比16.1%減）、営業損失は62百万円（前期は営業利益46百万円）となりました。

#### ●当社の配当

当事業年度の剰余金の配当につきましては、中間配当金1株当たり2.0円、期末配当金1株当たり2.0円とし、年間4.0円といたしました。

#### ●次期の見通し

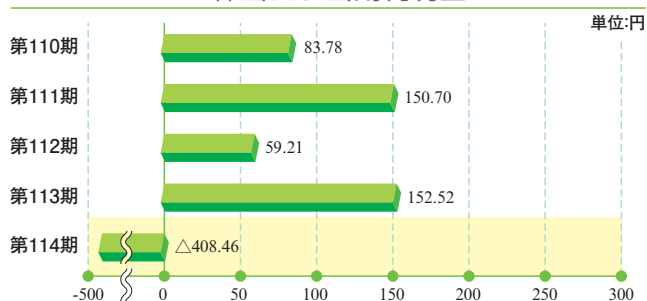
当社の中核事業である旅客運送事業を取り巻く環境は、モビリティのサービス化（MaaS）や自動運転分野の発展を背景に目まぐるしく変化しており、また、ドライバーの不足感も強まってきております。このような状況のもと、引き続き経営基盤の強化や人材の確保に努めるとともに、新たなビジネスチャンスに積極的に対応し、中長期的な成長のための基盤を確立すべく、2019年度を初年度とする中期3ヶ年経営計画「中期経営計画2021」を策定し、現在2年目を迎えております。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい状況が続いておりますが、グループの総力を挙げて「安心・安全・おもてなし」と企業価値の更なる向上に取り組んでまいります。

2021年6月

代表取締役社長

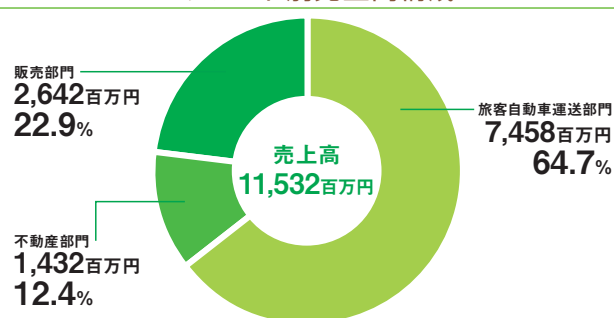
大塚 一基

### 1株当たり当期純利益



注記 2017年10月1日を効力発生日として普通株式2株を1株とする割合で株式併合を実施したため第110期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

### セグメント別売上高構成



## 財務諸表（連結）

### 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	
	前期 (2020年3月31日現在)	当期 (2021年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,469	9,409
固定資産	19,566	20,040
<b>資産合計</b>	<b>23,035</b>	<b>29,449</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,489	6,342
固定負債	9,686	15,781
<b>負債合計</b>	<b>14,176</b>	<b>22,124</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,794	7,098
その他の包括利益累計額	20	182
非支配株主持分	43	44
<b>純資産合計</b>	<b>8,858</b>	<b>7,325</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>23,035</b>	<b>29,449</b>

### 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	
	前期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	当期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)
売上高	16,026	11,533
売上原価	14,635	13,552
売上総利益又は売上総損失（△）	1,391	△2,018
販売費及び一般管理費	1,327	1,525
営業利益又は営業損失（△）	63	△3,544
営業外収益	163	1,713
営業外費用	139	257
経常利益又は経常損失（△）	87	△2,088
特別利益	1,180	584
特別損失	103	65
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失（△）	1,164	△1,569
法人税、住民税及び事業税	215	28
法人税等調整額	314	147
当期純利益又は当期純損失（△）	634	△1,720
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失（△）	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）	635	△1,721

### 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	
	前期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	当期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	849	△1,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110	△546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△193	6,488
現金及び現金同等物の増減額	545	4,913
現金及び現金同等物の期首残高	940	1,485
現金及び現金同等物の期末残高	1,485	6,398

### 連結株主資本等変動計算書（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	525	10	9,404	△1,145	8,794	57	△28	△8	20	43	8,858
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当	—	—	△25	—	△25	—	—	—	—	—	△25
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）	—	—	△1,721	—	△1,721	—	—	—	—	—	△1,721
自己株式の処分	—	—	△9	60	51	—	—	—	—	—	51
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	153	△5	13	162	0	162
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△1,756	60	△1,696	153	△5	13	162	0	△1,533
当期末残高	525	10	7,647	△1,084	7,098	211	△33	5	182	44	7,325

## 財務諸表（単体）

### 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	
	前期 (2020年3月31日現在)	当期 (2021年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,708	6,821
固定資産	15,591	15,748
<b>資産合計</b>	<b>17,300</b>	<b>22,570</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,421	3,964
固定負債	7,135	12,067
<b>負債合計</b>	<b>9,557</b>	<b>16,032</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	7,741	6,545
評価・換算差額等	1	△7
<b>純資産合計</b>	<b>7,743</b>	<b>6,538</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>17,300</b>	<b>22,570</b>

### 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	期別	
	前期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	当期 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)
売上高及び営業収益	2,288	1,544
売上原価及び営業費用	2,018	2,809
売上総利益又は売上総損失（△）	269	△1,264
販売費及び一般管理費	95	251
営業利益又は営業損失（△）	174	△1,516
営業外収益	72	134
営業外費用	106	222
経常利益又は経常損失（△）	140	△1,604
特別利益	52	566
特別損失	1	75
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	191	△1,114
法人税、住民税及び事業税	26	0
法人税等調整額	△7	105
<b>当期純利益又は当期純損失（△）</b>	<b>172</b>	<b>△1,220</b>

### 株主資本等変動計算書（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本							評価・換算差額等					純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	利益 準備金	その他利益剰余金									
				退職 積立金	固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金						
当期首残高	525	2	131	197	2,900	1,146	3,984	△1,145	7,741	30	△28	1	7,743
事業年度中の変動額													
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△25	—	△25	—	—	—	△25
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	△9	60	51	—	—	—	51
当期純損失（△）	—	—	—	—	—	—	△1,220	—	△1,220	—	—	—	△1,220
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	—	△38	—	38	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△3	△5	△9	△9
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△38	—	△1,218	60	△1,195	△3	△5	△9	△1,205
当期末残高	525	2	131	197	2,861	1,146	2,766	△1,084	6,545	26	△33	△7	6,538

## 主な事業所

### ●不動産ビル

大和王子ビル 東京都北区豊島5丁目2番1号  
大和銀座一ビル 東京都中央区銀座1丁目13番4号  
木村ビル 東京都中央区銀座1丁目13番5号  
ヤマトビル 東京都中央区銀座1丁目13番6号  
十一屋ビル 東京都中央区銀座1丁目13番5号  
名古屋木場ビル 東京都江東区木場1丁目4番12号  
藤和東神田ビル 東京都千代田区東神田1丁目23番4号  
アルテビル東神田Ⅱ 東京都千代田区東神田2丁目6番9号  
ヒルサイドスクウェア 東京都豊島区高田3丁目37番10号  
テラス日本橋 東京都中央区日本橋本町1丁目8番3号  
テラス猿江 東京都江東区猿江2丁目16番33号  
テラス亀戸 東京都江東区亀戸1丁目25番14号  
テラス浦安 千葉県浦安市北栄4丁目27番20号  
テラス府中 東京都府中市矢崎町2丁目27番1号  
テラス弥生町 東京都板橋区弥生町11番1号  
メゾン大島イースト 東京都江東区大島1丁目1番13号  
メゾン大島リバーサイド 東京都江東区大島1丁目1番11号



●ヒルサイドスクウェア  
東京都豊島区高田3丁目



●名古屋木場ビル  
東京都江東区木場1丁目

### ●関連会社

大和物産株式会社  
住所 東京都江東区白河1-5-16  
大和自動車株式会社  
住所 東京都江東区猿江2-16-27  
大和工機株式会社  
住所 山梨県笛吹市一宮町東原865  
大和自動車王子株式会社  
住所 東京都北区豊島5-1-32  
株式会社スリーディ  
住所 東京都中央区銀座1-13-5  
大和交通保谷株式会社  
住所 東京都西東京市泉町3-12-18  
大和自動車交通羽田株式会社  
住所 東京都大田区昭和島2-4-4  
大和自動車交通江東株式会社  
住所 東京都江東区猿江2-16-27  
大和自動車交通立川株式会社  
住所 東京都立川市富士見町1-25  
大和自動車交通ハイヤー株式会社  
住所 東京都中央区銀座1-18-2  
銀座営業所 東京都中央区銀座1-18-2  
日比谷営業所 東京都千代田区日比谷公園1-2  
(日比谷自動車駐車場内)  
中央福祉営業所 東京都中央区銀座1-13-5  
株式会社丸井自動車  
住所 東京都足立区千住関屋町8-6  
株式会社トータルメンテナンスジャパン  
住所 東京都渋谷区恵比寿4-4-6  
日本自動車メーター株式会社  
住所 東京都江東区猿江2-16-31



●メゾン大島イースト  
東京都江東区大島1丁目



●藤和東神田ビル  
東京都千代田区東神田1丁目



●テラス弥生町  
東京都板橋区弥生町



●アルテビル東神田Ⅱ  
東京都千代田区東神田2丁目

## 株式の情報

### ●株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,250,000株
株主数	1,064名
大株主 (上位10名)	

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
新 倉 文 明	422	9.69
東 都 自 動 車 株 式 会 社	379	8.70
太 陽 生 命 保 険 株 式 会 社	375	8.60
吉 田 満	316	7.24
第 一 生 命 保 険 株 式 会 社	275	6.30
安 田 一	150	3.44
新 倉 眞 由 美	140	3.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口)	135	3.10
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	130	2.98
株 式 会 社 白 亜	128	2.94

## ホームページのご紹介

当社グループのさまざまな情報はこちらでもご覧いただけます。

<https://www.daiwaj.com/>

## 会社概要

### ●会社概要 (2021年3月31日現在)

商号	大和自動車交通株式会社
創業	1939年9月13日
設立	1945年1月1日
資本金	525,000,000円
主な事業内容	不動産事業 福祉・介護事業 ※ハイヤー・タクシー事業は関連8社が行っています。
従業員数	3,207名 (連結)

### ●役員 (2021年6月29日現在)

代表取締役 会長	前 島 忻 治
代表取締役 社長	大 塚 一 基
専務取締役	齋 藤 康 典
取締役	加 藤 雄 二 郎
取締役	新 倉 眞 由 美
社外取締役	田 中 明 夫
社外取締役	田 村 泰 朗
常勤監査役	小 林 幸 雄
社外監査役	鐵 義 正
社外監査役	若 槻 治 彦

## 株主優待のお知らせ

株主のみなさまの日頃のご愛顧に感謝し、また当社へのご理解を一層深め、株式を中長期的に保有していただくため、クオカードを贈呈いたします。

毎年3月31日現在の1単元以上保有(100株以上保有)の株主様に対し

- ご所有株式数500株から2,499株まで

**クオカード2,000円分**

- ご所有株式数2,500株以上
- クオカード3,000円分**



## 株主メモ

事業年度  
配当金受領株主確定日

4月1日から翌年3月31日まで

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

定時株主総会  
株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先

6月中

三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

100株

単元株式数  
公告方法

電子公告

公告掲載アドレス <https://www.daiwaj.com/>

(ただし、電子公告によることが出来ない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

# お車のことは「大和グループ」へ!

## ハイヤーと 福祉車両の ご用命は…

大和自動車交通ハイヤー(株)へ!  
ハイヤー 銀座営業所 03(3561)1003  
日比谷営業所 03(3504)0511  
福祉車両 中央福祉営業所 03(3561)0182

## タクシーでの 東京観光の ご相談は

モビリティ推進室へ!  
03(6752)1515

## タクシーの ご用命は…

大和のタクシー配車センターへ!  
03(3563)5151

スマホ配車アプリも好評!  
固定電話からIVR(自動配車受付)も便利です!

お問合せはタクシー事業統括部へ  
☎ 0120(788)363

### ◎LPG・ガソリン・自動車保険は

大和物産(株) 03(3641)8436

LPGスタンド 03(3633)5332

保険課 03(3641)8481

### ◎不動産・住宅のご相談は

(株)スリーディ 03(3561)3525

### ◎住宅建材は

大和工機(株) 055(347)1323

## 大和自動車交通株式会社

東京都江東区猿江二丁目16番31号

☎03 総務(6757)7162  
営業(6757)7171

